もちつき祭

MotiTsuki Matsuri
48º MOTI TSUKI MATSURI
FESTIVAL DO BOLINHO DA PROSPERIDADE
ACAL
AGRADECE A SUA PRESENÇA
Boas Festas e Feliz Ano Novo
リベルダーデ
もちつき

挨拶する池崎会長

　開幕式では池崎会長が演台で来賓を紹介、「２万袋を配るなど、餅つきイベントとしては世界最大」と位置づけ、「旧年中は広場名とメトロ駅名を改名してもらったことに、心から感謝したい。餅が意味する平和と調和をもって、この広場で日本文化普及を続けたい」との抱負をのべた。

　続いて野口泰在聖総領事が「ブラジルでは新大統領が就任するが、日本でも４月に天皇陛下が退位され、５月に新しい陛下が即位される。ともに大変化を迎える両国の関係がさらに深まる１年でありますように。そしてコッパ・アメリカで来伯する日本代表サッカーチームを応援してください」と呼びかけた。

　山下譲二文協評議員会長は「７月には眞子内親王殿下をお迎えして無事に１１０周年を祝うことができた。餅は、何度も搗かれて叩かれて、ようやく味わい深くなる。この大変だった年の暮れだからこそ、そのような日本伝統の餅を食べることに意義がある。このような行事を継承し続けるＡＣＡＬに心から感謝する」と語った。

　カタギリ次期下議は「日本文化が持つ勤勉さ、忍耐強さ、勤勉さを象徴する食べ物が餅。たとえ多くの困難が新年に待ち構えていても、この精神で乗り越えましょう」と呼びかけた。

　ブラジル長崎県人会青年部による勇壮な龍踊りが披露された後、来賓らは茅の輪をくぐって、南米大神宮の逢坂和男神主によるお祓いを受け、罪穢を浄化して新年に迎える準備をした。

48° MOTI TSUKI MATSURI
FEST O BOLINHO DA P RIDADE
DECE A SUA PR
Festas
東麒麟

東洋会館で乾杯する主催者と来賓

　来賓やボランティアら約１００人は東洋会館に移動し、改めて式典に。網野弥太郎ＡＣＡＬ評議員会長が一年の総括をし、特に活躍した３人として野口総領事、菊地義治１１０周年実行委員長、池崎会長を挙げ、「移民１５０周年、２００周年と永久に行事が続けられますように」との期待をのべた。

　「蛍の光」や「1月1日」などが合唱され、与儀昭雄援護協会会長が音頭をとって乾杯、御雑煮に舌鼓をうった。

　３０年間欠かさず茅の輪くぐり設営を手伝いにソロカバから来ている早川量通さん（７５、北海道）は「朝４時のオニブスで来た。一年の穢れを祓う神道の大事な行事。手伝い甲斐があります」と頷き、御雑煮を美味しそうに頬張った。

　餅つきを手伝ったリベルダーデ・ラジオ体操会の鹿又（かのまた）信一会長も、「日本を離れてちょうど６０年。ＡＣＡＬのイベントは花祭り、七夕、東洋祭り、餅つきといつも祖国を思い出させてくれる。と同時にブラジル人に日本文化を紹介するとてもいい機会になっている」と頷いた。

COPOBRAS